第３回
鹿角高等学校魅力化ビジョン策定ワークショップ　報告書

日　時	令和 8 年 10 月 19 日（月）16 時 00 分～17 時 00 分
会　場	鹿角高校　2 階　会議室
対象者	鹿角高等学校教員　41 名
進　行	一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム　高橋洋平氏
内　容	１．オリエンテーション 〇地域・教育魅力化プラットフォーム高橋氏からの説明 【CPF 高橋氏】 ・CPF の紹介、先進事例（隠岐島前高校）の共有 ・鹿角市や鹿角高校の現状（人口減少とそれに伴う生徒数の減少が見込まれることや、地域外の高校に進学する生徒が一定することなど）を共有。 ・地元からの進学者増には「鹿角高校を選びたくなる理由」「保護者が通わせたいと思う要素」「地域が必要と感じる学校像」を明確にする必要がある。 ・第 1 回、第 2 回のワークショップの結果共有。特に第 2 回では、生徒側からは主に以下の意見が出されたことを紹介した。 〇校則が厳しいので、自分たちでも考えたり決めたりしたい 〇情報の授業でゲームやｅスポーツ等に触れられるとよい 〇温水プールや小さな水族館など、施設面の魅力がほしい 〇有名人に来てほしい。知名度向上 ・「生徒が当事者となること」・「身近な課題解決への挑戦」・「授業や部活動の中に主体性、探求性を高める要素」、「地域や行政との連携強化」を学校改革の方向性として提示。 ・各種アンケート結果の概要共有。 〇今回のワークショップのゴール 学校の役割を自分たちの言葉で表現し 各自が次の一手を考えることができる状態 〇グループ編成、意見出しの方法 学年、教科、分掌等がなるべく分かれるよう編成 付箋ではなく、無記名のワークシート形式で実施。 個人ワーク後、グループ内共有。最後に各グループ内で 3 つに絞る。

２．グループワーク１
①『高校でできそうなこと、やってみたいこと』
②『難しそうなこと』
※別紙「全体総括・各グループまとめ」参照

①『高校でできそうなこと、やってみたいこと』
・校則を生徒が決める、考えさせる
・学校の情報発信強化と生徒の関与
・探求学習の時間での地域との連携
・小中との連携、交流
・産業工学科の強みを生かし、地域唯一の工業系学科をアピール
・地域行事等への参加
等

②『難しそうなこと』（：理由等）
・温水プール等：資金、場所、維持管理
・校則の生徒決定：秩序の崩壊、継続性の保証がない、
進路実現に支障
・新しい部活：顧問確保、先に既存部活の見直し
・有名人の招へい：目的、企画、運営、費用
・SNS 運用：教員が担当だと負担
等

３．グループワーク２
①『学校でできること』
②『学校だけでは難しいこと（誰・何があれば可能？）』
※別紙「全体総括・各グループまとめ」参照

①『学校でできること』
・カリキュラムの見直し
・学校情報（授業、行事等）の開示と発信
・地域と連携した探求学習
・校則の見直し
・スキー教室等の地域資源を生かした学びの場づくり
・部活動の外部化
・探求の時間の充実、地域共創 DAY のような外に出て学ぶ日の設定

②『学校だけでは難しいこと（誰・何があれば可能？）』
「通学や移動について」・「食（給食・食堂・購買）」・「住まい（下宿等）」・「奨学金等の経済的支援」・「情報発信」・「地域と

	の連携」・「留学や国際交流」等が挙げられた。 **４．まとめ** ・時間の都合上、グループ内発表はなし。 ・鹿角高校の教員が現場で抱える様々な思いが言語化され、グループ内で共有された。 ・第 4 回ではさらに多様な関係者等を対象としたワークショップを実施する旨共有 以上
資　料	・スライド資料「生徒や地域の声を、現場でどう実現するか」



